

## 日隅一雄・情報流通促進賞(第10回)

## 『賃金破壊』に特別賞

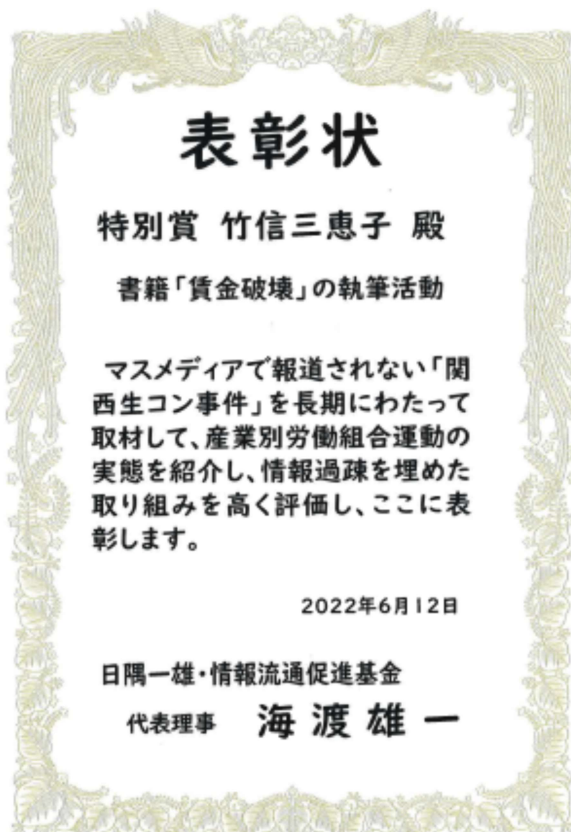
## ●「情報過疎を埋める取り組み」

「関西生コン事件」をテーマにした『賃金破壊』を執筆した竹信三恵子さん（ジャーナリスト、和光大学名誉教授）に、第10回「日隅一雄・情報流通促進賞」の特別賞を受賞した。

日隅一雄・情報流通促進賞は、表現の自由、情報公開、国民主権の促進に生涯を捧げた弁護士、故・日隅一雄さん（2012年6月享年49歳で病没）の理念をもとに、公正な情報の流通の促進、真の国民主権の実現に貢献している個人や団体を顕彰、支援することを目的に2012年に設立された。

竹信三恵子さんの表彰理由は次のとおり。

「当事者への長期にわたる取材をもとに、本書籍は、いわゆる「関西生コン事件」の本質が、賃金・労働条件向上の具体的な成果を上げた、企業別でない産業別労働組合運動の実態を紹介しています。とかく政治的バイアスがかかった情報が流通しがちな労働組合問題について、何がおこっているのかを明らかにし、産業別労働組合の活動に対する評価を試みています。マスメディアの報道がなく情報が限られる問題について、その情報過疎を埋める取り組みを評価しました。」



## ●6/12 表彰式

6月12日、表彰式が小石川後楽園涵徳亭で開かれ、竹信さんに表彰状が贈られた。

なお、「大賞」は、終戦後、連合軍占領下に置かれていた6年8か月の間、占領軍に起因しておきた無数の事件や事故を明らかにして、日本の戦後のあり方を問い直した、藤目ゆきさん（大阪大学教授）の書籍『占領軍被害の研究』執筆活動。

「奨励賞」は次の2者。

- ・屋久島ポスト（共同代表鹿島幹男さん。屋久島町政をめぐる一連の調査報道活動）
- ・三上智恵さん（沖縄スパイ戦に関する一連の映画制作・書籍制作・報道と講演等の活動）

また、「特別賞」は竹信さんのほか、前川喜平さん（書籍『権力は腐敗する』の執筆と講演活動）にも贈られた。